

2019 年度「人材発掘」入試・  
学部 3 年次生特別入試枠  
法学既修者認定試験

# 憲 法

(問 題)

## 注 意 事 項

1. 問題冊子、解答用紙および貸与六法は、試験開始の指示があるまで開かないでください。
2. 問題は 2 頁に記載されています。問題冊子の印刷不鮮明、頁の落丁・乱丁および汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせてください。
3. 下書用紙は一人につき一枚のみ配付します。
4. ラインマーカー、色鉛筆、修正液等は、問題冊子・下書用紙に使用することを許可しますが、解答用紙に使用した場合は、不正行為とみなすことがあります。
5. 貸与六法への書き込みは、不正行為とみなすことがあります。
6. 試験開始の指示の後、解答用紙表紙の所定欄に、受験番号、氏名を記入してください。受験番号は正確に間違いに記入してください。読みにくい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意してください。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記用具を置いてください。終了の指示に従わず筆記用具を持っていたり解答を続けた場合は、不正行為とみなすことがあります。
8. 試験終了後、問題冊子、下書用紙は持ち帰ってください。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出してください。
10. 解答用紙に記載の注意事項もあわせて確認してください。

問題（60点）

次の文章を読んで、下記の（１）および（２）に答えなさい。

衆議院議員であるAは、児童虐待防止法改正案の地方公聴会で発言し、地元の児童相談所の職員Bに児童を虐待した過去があるとの噂を披露し、児童虐待の防止のためには法改正とともに適正な職員の充実が必要であると訴えた。あやふやな噂に基づくこの発言がもとでBは社会的に激しい非難を浴び、追い詰められて憔悴しきり、数日後に無実を主張した遺書を残して自殺した。

- （１）Bの妻Cは夫の死はAの発言に原因があるとして、Aの法的責任を問いたいと考えている。まず、CはAおよび国に対してどのような主張を展開するか。次に、それらに対する反論を簡潔にまとめた後に、責任追及の成否についてのあなたの考えを述べなさい。（40点）
- （２）Aの所属政党Dは、これまでAには議会中の居眠りやヤジなど議員としての品性に欠ける言動も多く、党の方針に従わないスタンドプレーが目立ったことから、今回の無責任な発言を機に、党の規約に従い適正にAを除名に処した。Aは比例代表選出議員であったことから、D党から議員の辞職を求められている。議員辞職に対するAの反論をまとめた後に、あなたの考えを述べなさい。（20点）

〔以下余白〕



